



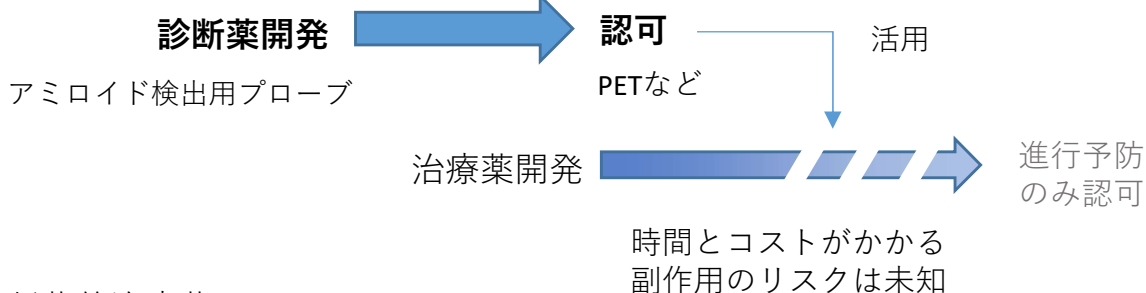
アミロイド線維検出プローブ

キーワード

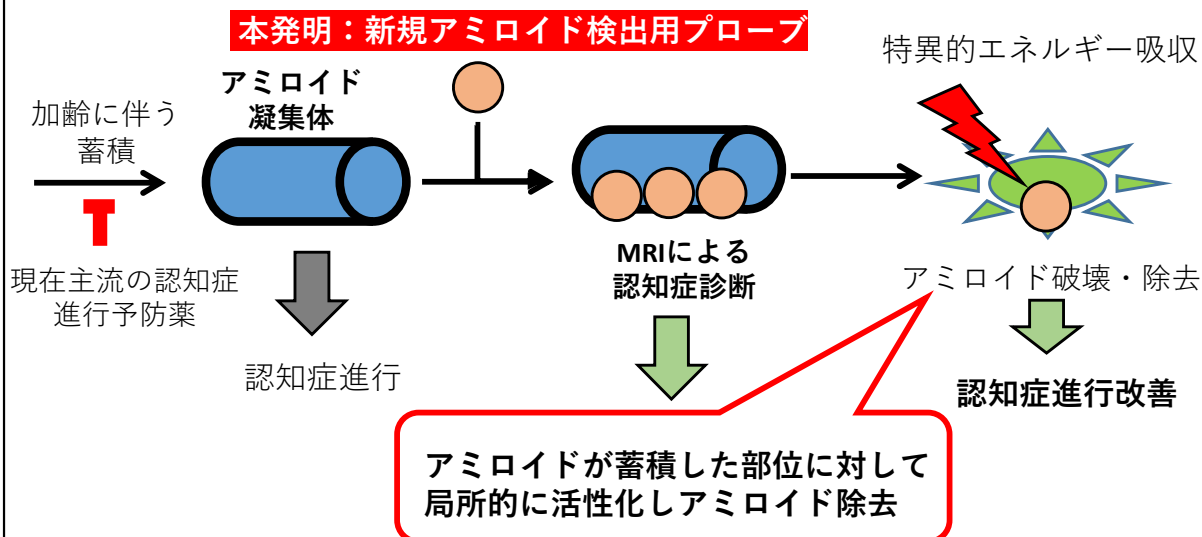
認知症、アミロイド、診断用プローブ、治療薬

【研究内容の概要】

これまでの創薬



診断薬兼治療薬



特徴／効果

- ・ アミロイド凝集体を検出するプローブをそのまま治療薬として使用できる。
- ・ 核磁気共鳴、近赤外蛍光があるので、分光装置により検出可能。
- ・ プローブの活性化は局所的に行えるため、治療による副作用の心配が減る。
- ・ アミロイド蓄積の予防だけでなく、蓄積してしまったアミロイドを除去できる唯一の技術。

利用／用途

- ・ 同様の技術により、他の疾患に対する創薬における開発コストの軽減が期待できる。
- ・ 診断はMRIなど非侵襲装置を使用可能であり、副作用のリスクが低い。
- ・ 近赤外蛍光も有するため、MRIより安価な装置でも検出可能。
- ・ プローブは低分子化合物なので、抗体医薬に比べて安価。

知的財産権等情報

生物理工学部 食品安全工学科

白木 琢磨

特許出願

特開2024-163697

論文等

〇 編

URL

<https://www.kindai.ac.jp/meikan/840-shiraki-takuma.html>

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL：06-4307-3099 FAX：06-6721-2356

E-mail：klc@kindai.ac.jp

URL：http://www.kindai.ac.jp/liaison/